

仙北市木質バイオマス施設竣工式



本市における新エネルギー政策の 出発点として稼働開始

本市の豊かな森林資源を利用した木質バイオマスをガス化発電システムによるエネルギー供給を目的とした「仙北市木質バイオマス施設」がこのたび完成し、4月1日、同施設内にて竣工式が行われました。

多くの関係者が参列した式では、神事が執り行われた後、市長らによる点火式が行われ、同施設が本格的に始動しました。



本施設は平成19年2月に制定された「仙北市地域新エネルギービジョン」の中の重点プロジェクトの一つとして進められ、平成21年度、農林水産省の「森林・林業・木材産業づくり交付金事業・木質バイオマス整備事業」の採択を受け、8月工事に着手しました。総工費は約6億9百万円、内約3億円が国からの補助金となっています。

鉄骨造り地上2階建の建物内は、エンジンルーム、原料チップヤード、機械室、電気室等からなり、延べ床面積526.87㎡。1日約10トンのチップを使用し、発生する熱量は、重油換算で約700リットル相当になり、電力は、300kWの供給が可能。ここで発生した熱（温水）と電気を、隣接する介護老人保健施設にしき園と西木温泉ふれあいプラザクリオンに供給されます。

本施設は、化石燃料から再生可能なエネルギーへ転換する画期的なシステムで、林地残材や製材端材を利用することで、森林の持つ多面的機能の発揮が図られ、地球温暖化防止策としての効果と、本市の森林産業の振興、地域産業の活性化を推進するものとして期待されます。



ガスエンジン



ガス化炉



供給クレーン

仙北市地域新エネルギービジョン 「森と水と人々のハーモニー」

太陽、風力、水力、バイオマスエネルギーなど繰り返し使える新エネルギー。地域の持つエネルギーの特徴を調査、開発するための、本市の指針が「新エネルギービジョン」です。

○町づくりや産業の振興に生かすために

新エネルギーの取り組みを市民生活の向上や産業振興に役立てて、観光拠点都市を目指す仙北市の一層の発展に活かします。

○エネルギーを安定的に確保するために

わが国はエネルギーの95%以上を海外から輸入しています。21世紀の日本を考え、身近なところから、エネルギーを創り出す事が大切になっています。

○地球環境問題などの改善を進めるために

地球の温暖化防止のために脱化石燃料化を進め、二酸化炭素を吸収する森林資源を育てます。

バイオマスとは？

「再生可能な、生物由来の有機性資源（化石燃料は除く）」が生物資源量＝バイオマス (biomass) です。

木材からなるバイオマスを「木質バイオマス」と呼び、樹木の伐採や造材時に発生した林地残材の枝、葉、製材時に発生した樹皮やおが屑、住宅の解体材などがあります。

設備フロー

